



小学生ソフトボールオーストラリア親善試合 夜須っ子日本代表に！

3月にオーストラリアで開催された日本小学生ソフトボール連盟主催の国際親善交流試合に、夜須小学校6年生(3月末時)の2人が女子チームの日本代表選手の一員として出場しました。「JAPAN」のユニフォームを着て挑んだ足達いまりさん、小松柚姫さんにお話を聞きました。

担当 広報編集委員 久保きみ

ジュニアソフトボール

2人がソフトボールを始めたのは小学3年生の頃。地元のジュニアチームに所属して練習を重ねていましたが、更なる技術の向上をめざして、本山町桜ジュニアチームへ移籍しました。週末には保護者の送迎で練習や試合に通い、力をつけていきました。

あこがれの日本代表

昨年8月、オーストラリア親善交流派遣団の代表選手兼考も兼ねて行われた「びわこオープン全国ジュニアソフトボール大会」に出場。全国各地から男女合わせて70チーム以上が参加する大きな大会で、そこでの活躍が認められた2人に同10月「代表選手決定通知書」が届きました。受け取った2人は跳び上がって喜んだそうです。

そして今年2月、滋賀県の長浜ドームで代表選手たちの事前合宿が行われ、28人の選手たちは2人の所属する「princessJAPAN」と「dreamsJAPAN」の2チーム編成となりました。

特別な卒業式

出発は3月23日で、この日は夜須小学校の卒業式。晴れの日にみんなと一緒に卒業式に出席できない

など一緒に卒業式に出席できない2人とご家族のために、前日の総合練習の時に1日早い卒業式を挙行。この特別な計らいにご両親も「感激しました」と話されました。

五輪会場で熱戦

オーストラリアではシドニーオリンピックのソフトボール競技が行われたブラックタウン・ベースボールスタジアムで試合が行われました。体格が大きく年齢の違いもあるオーストラリアチームとの対戦は2日間で合計6試合を戦うハードさ。日本女子は2チームとも6戦全勝し優勝、2人いるチームは得失点差で準優勝という好成績を納めました。

環境の違いや緊張感もある中で、のびのびプレーで攻守に活躍した2人にとって大変有意義な体験となったことでしょう。



夢にむかって

4月から中学生になり、足達さんは夜須中学校に進学。高知市内の女子軟式野球のクラブチームに所属し活動を始めました。一方の小松さんは愛宕中学校に進学し女子ソフトボール部に入部し競技を続けています。お互いに進路は違いますが小さいころから切磋琢磨しながら努力を重ねてきた友情と、貴重な経験はこれから先の大きな糧となることでしょう。将来の夢もすっかり持ち、キラキラ輝く瞳と笑顔が印象的な2人でした。

次はオリンピックの「日本代表選手」に！と期待が膨らみます。



▲足達いまり選手(左)小松柚姫選手(右)

(写真は「家族提供」)



▲一日早い卒業式

編集後記

▼4月の異動で福祉事務所から広報の担当になりました。今まで読む側でしたが、作成する側になるとは思ってもみませんでした。限られた紙面の中に、市民の皆さんにお伝えしたい内容をわかりやすく載せていくのは、簡単なようでなかなか奥が深いです。本格的な一眼レフカメラを使うのも初めての経験です。その場の臨場感や躍動感を表現できるような写真が撮れるか不安ですが、皆さんが翌月号が待ち遠しいと思えるような、楽しく役立つ広報を目標に頑張っていきます。また、取材を通じて市内のさまざまな場所に出向き、いろいろな方とお話できる機会が持てることを楽しみにしています。これからよろしくお願いたします。

(前川 聖)

《広報へのメール》

kouhou@city.kochi-konan.lg.jp
《香南市のホームページ》
http://www.city.kochi-konan.lg.jp

マチイロ
スマホで
広報を見よう
「i広報紙」はアプリ名称が「マチイロ」になりました。